Rinnai®

ガス炊飯器

RR−15SF(家庭用)・RR−20SF2(業務用)

取扱説明書

(保証書付)

お使いになる前に

使いかた

困ったときは

ご愛用の皆様へ

このたびは、ガス炊飯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認の上、大切に保存してください。
- 本製品は国内専用です。海外では使用できません。
- RR−15SFは家庭用なので、業務用のような使い方をされますと著しく寿命が短くなります。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にて再購入してください。

安全のために必ず守ってください

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

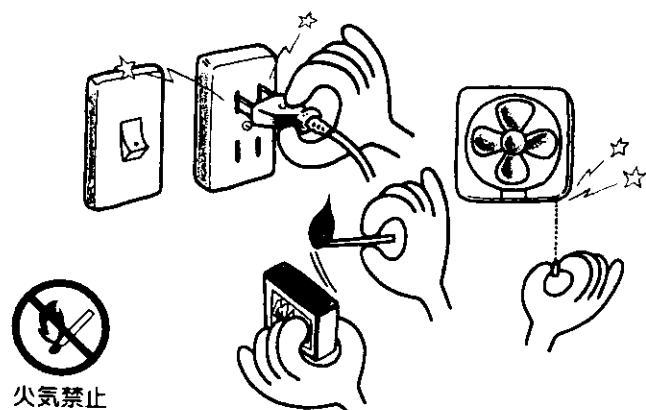
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

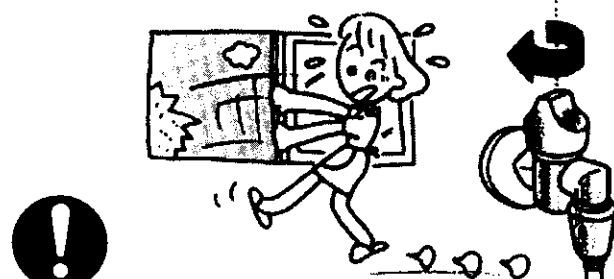
●絵表示については次のような意味があります。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。	発火注意 高温注意
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	火気禁止 接触禁止 分解禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。	

⚠ 危険

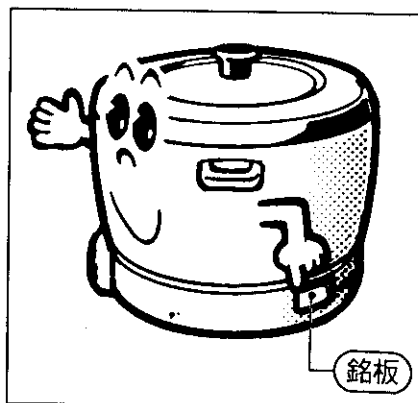
ガス漏れ時のご注意

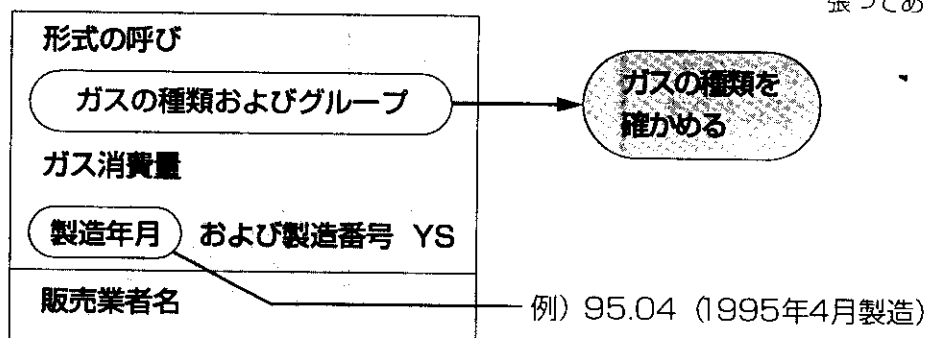
●ガス漏れの時は、火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話など使用しない。引火し爆発事故を起こすことがあります。

●万一ガス漏れに気付いたら
①すぐに使用をやめガス栓を閉じる。
②窓や戸を開けガスを外へ出す。
③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡する。

必ず行う

⚠警告

●使用ガスについてのご注意

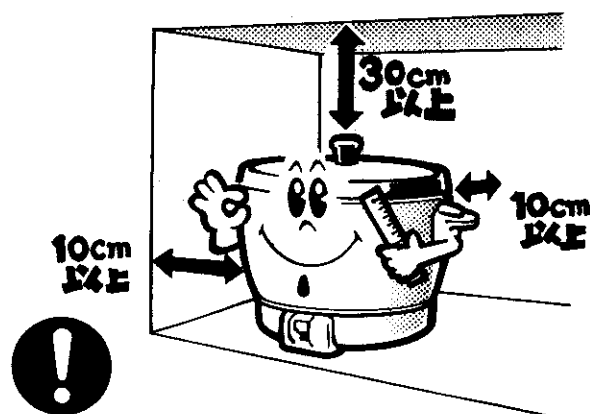
- 機器が使用ガス（使用ガスグループ）に適合していることを機器の銘板で確認してください。
- 表示以外のガスでは使用しないでください。不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり爆発着火でやけどしたりすることがあります。また故障の原因にもなります。
- 転居されたときにも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確かめてください。

※ガスの種類には都市ガス数種類とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

この機器の銘板は炊飯燃焼部に張ってあります。

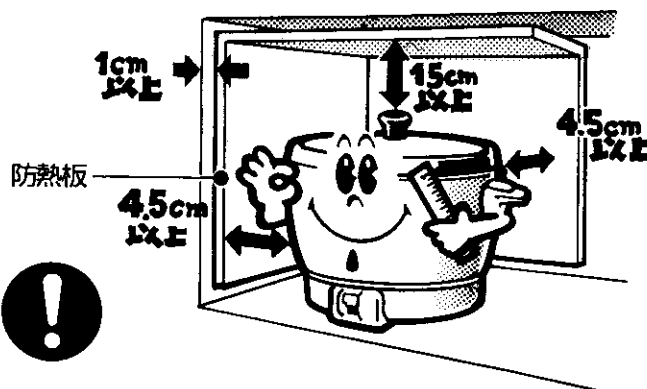
〈表示の内容〉

●設置について

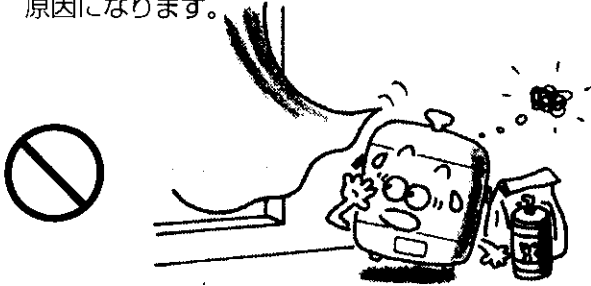
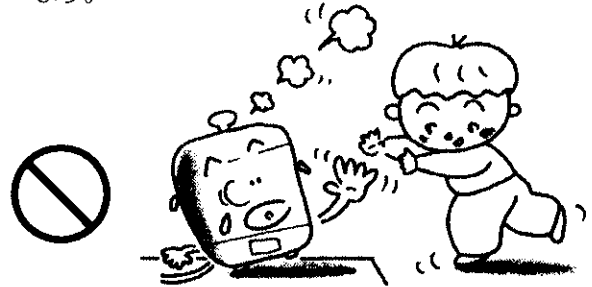
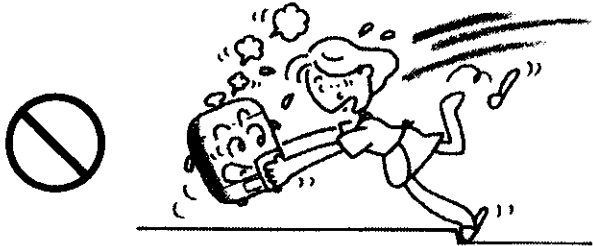
- 火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス鋼板などを直接張った場合でも可燃物と同様の距離が必要です。
- 機器を設置した後、機器の周囲の改造をしないでください。（例えば、周囲を囲ったり、吊り戸棚をつける等）設置基準上問題となる場合があり、また不完全燃焼や火災の原因になる場合があります。

●周囲の壁などが木材のような可燃物の場合

壁から10cm以上、上方は30cm以上必ず離してください。

●可燃物の壁から10cm以上離せない場合

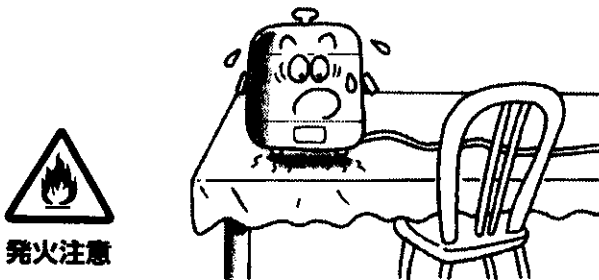
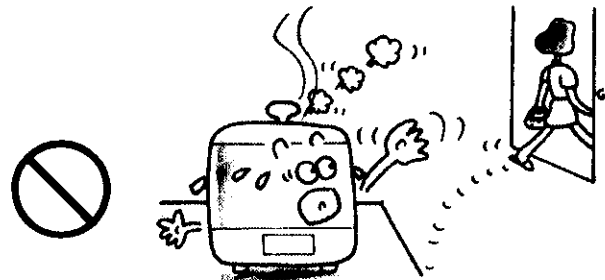
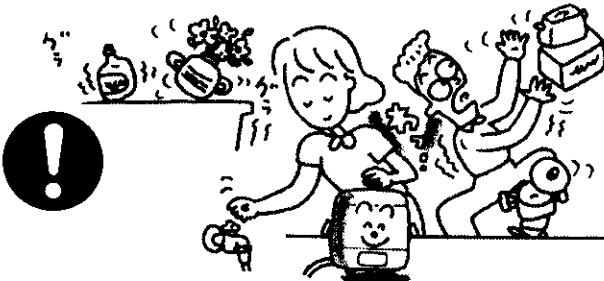
防熱板を壁に取り付けてください。

※防熱板については、お買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご相談ください。

⚠警告

●機器の上や周囲には可燃物（カーテン・紙ぶくろなど）や引火性（スプレー缶など）のものは置かないでください。焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・けがをする恐れがあります。

●炊飯中に機器を持ち運ばないでください。炊飯中の機器は高温の排気や蒸気が出るので危険です。また、転倒すると、火災・やけどの原因になります。

●タオル・ふきんなどを機器にかぶせないでください。不完全燃焼や機器の損傷・火災の恐れがあります。

発火注意

●不安定な場所や新聞紙やビニールシート等のような熱に弱い敷物の上では使用しないでください。火災の原因になります。

発火注意

●火をつけたまま外出・就寝は絶対にしないでください。焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災などの場合、あわてずに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。火災・ガス漏れの恐れや異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

⚠ 注意

●ガス事故防止

- ゴム管はガス用ゴム管（検査合格又はJISマークの入っているもの）を使用してください。又、ひびわれしたり、差し込み口がゆるんでいるとガス中毒やガス爆発の原因になります。傷んだゴム管は必ず取り替えてください。
- ゴム管は、ガス接続口の赤線まで差し込みゴム管止めで確実に止めてください。
- ゴム管の継ぎたし及び二又分岐はしないでください。

●炊飯中、炊飯後は、炊飯燃焼部・外わく・外ぶたは高温になっていますので、手を触れないでください。やけどをすることがあります。特に幼児にはさわらせないようご注意ください。

接触禁止

●炊飯中に蒸気吹き出し口付近に手や顔を持っていかないでください。蒸気でやけどをすることがあります。特に幼児にはさわらせないようご注意ください。

接触禁止

●炊飯中は、排気口から高温の排気が出ますので、顔や手などを近づけないでください。また、炊飯直後にふたを開けるときの蒸気にも注意してください。やけどをすることがあります。

高温注意

●点火操作をするときは、点火確認窓に顔を近づけ過ぎないようにしてください。やけどをする恐れがあります。

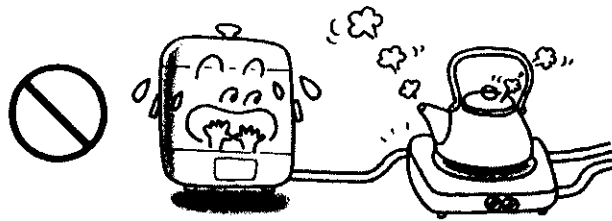
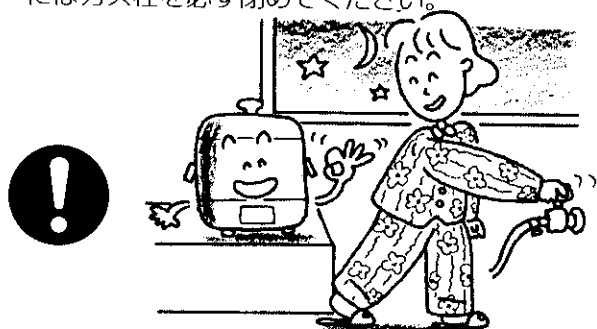
●バーナー部にしゃもじなど可燃物が落ちていないか確認してください。炊飯中に燃え出し危険です。

発火注意

●炊飯以外の用途には使用しないでください。過熱・異常燃焼による火災などの原因になります。

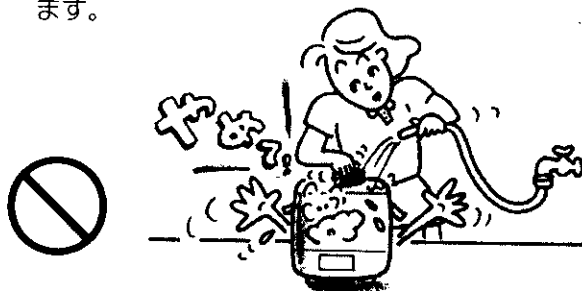
⚠注意

●水のかかるところや、他の熱源の近くでは使用しないでください。故障の原因になります。

●ゴム管は機器の下側を通したり、他の熱源などの高温部分にふれないようにしてください。また、無理に折曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。ゴム管を傷める原因になります。

●使用後は消火を確かめ、お出かけやおやすみの際にはガス栓を必ず閉めてください。

●感熱部のお手入れはこまめに行ってください。汚れていたり、炊飯かまとの間に異物があると、正常に働かないことがあります。

●お部屋の換気口（給気口·排気口）は、常に確保し、物などでふさがないでください。又、使用中は換気扇を回すなど換気にご注意ください。

●車両・船舶での使用はしない。
使用中に機器が傾いたりし、火災や、やけどの原因になります。

●機器を水につけたり、水をかけたりしないでください。不完全燃焼や機器の損傷の恐れがあります。

気をつけていただきたいこと

●無洗米について

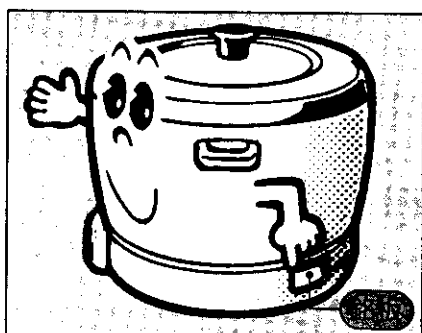
- 無洗米に付属の説明書をよくお読みのうえ、炊飯してください。

●白米以外のご飯を炊飯する場合

- 具を入れたり、味付けしたりするのでお米の量は最大炊飯量の1/2 位にして炊いてください。具は水加減した後、お米の上に乗せ、かきまぜないでください。
- 具の種類や水加減によっては早切れしたり、吹きこぼれしてうまく炊きあがらないことがあります。また炊き上がっても底に焦げ色がつきます。
- もち米を混ぜて炊飯した場合、もち米の量によりうまく炊けないことがあるのでご注意ください。

使用前の準備

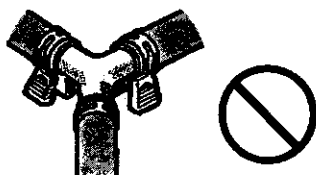
1 使用ガスを確認する

炊飯燃焼部に表示しているガスの種類とお宅のガスが一致しているかまず確かめてください。

2 ガスを接続する

●ガス接続口径はφ9.5mmホースエンドになっています。

●ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短く（2m以下で適当にゆとりを持たせる）また機器の下を通したり機器に触れたりしないようにしてお使いください。

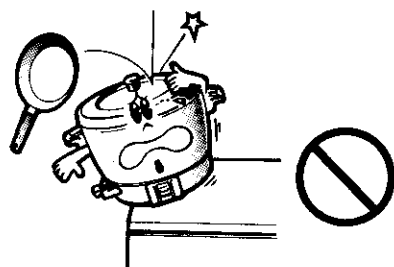
●ゴム管は、ガス接続口の赤線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。

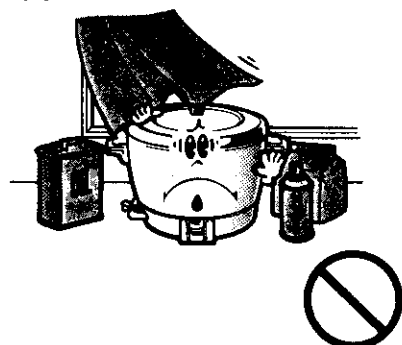
●ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐は行わないでください。

●ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。（ビニール管は弾力性がなく熱にも弱いです。）またひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は必ず取り替えてください。

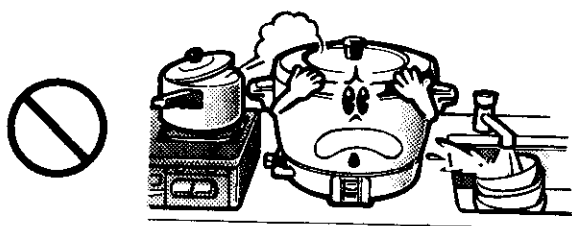
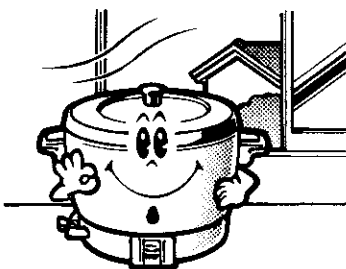
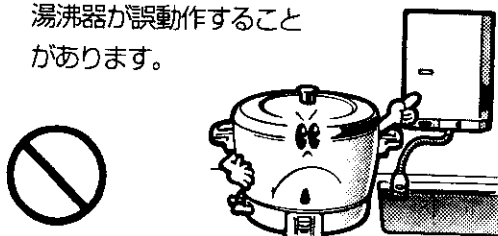
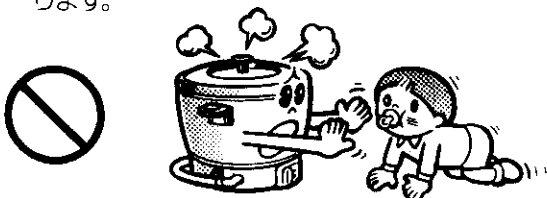
●ヒューズコックをご使用の場合は、ガス種、ガス量に適したヒューズコックをお選びください。

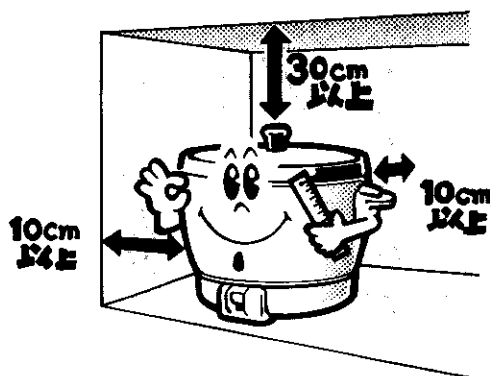
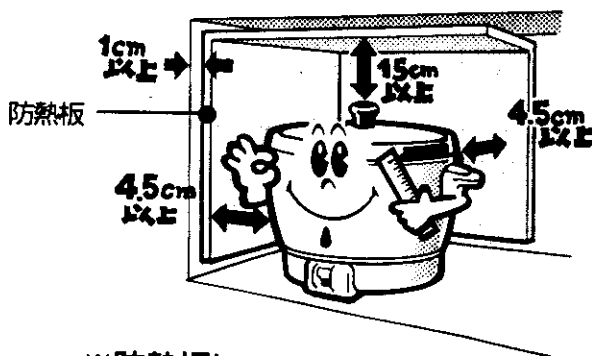
3 設置場所の注意

●安定した、落下物や風の心配のないところ

棚の下など落下物の危険があるところや、不安定なところ、風のあたるところでは使用しないでください。機器の上に落ちたものが燃えて火災になる恐れがあります。

●可燃物のないところ

機器の上やまわりには可燃性（カーテン・紙ぶくろなど）や引火性（スプレー缶など）のものは置かないでください。使用中に近くのものが燃えて、火災になることがあります。

3 設置場所の注意（つづき）

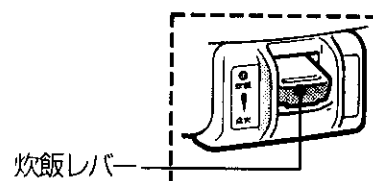
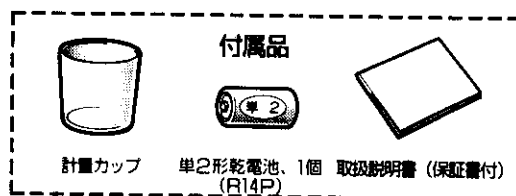
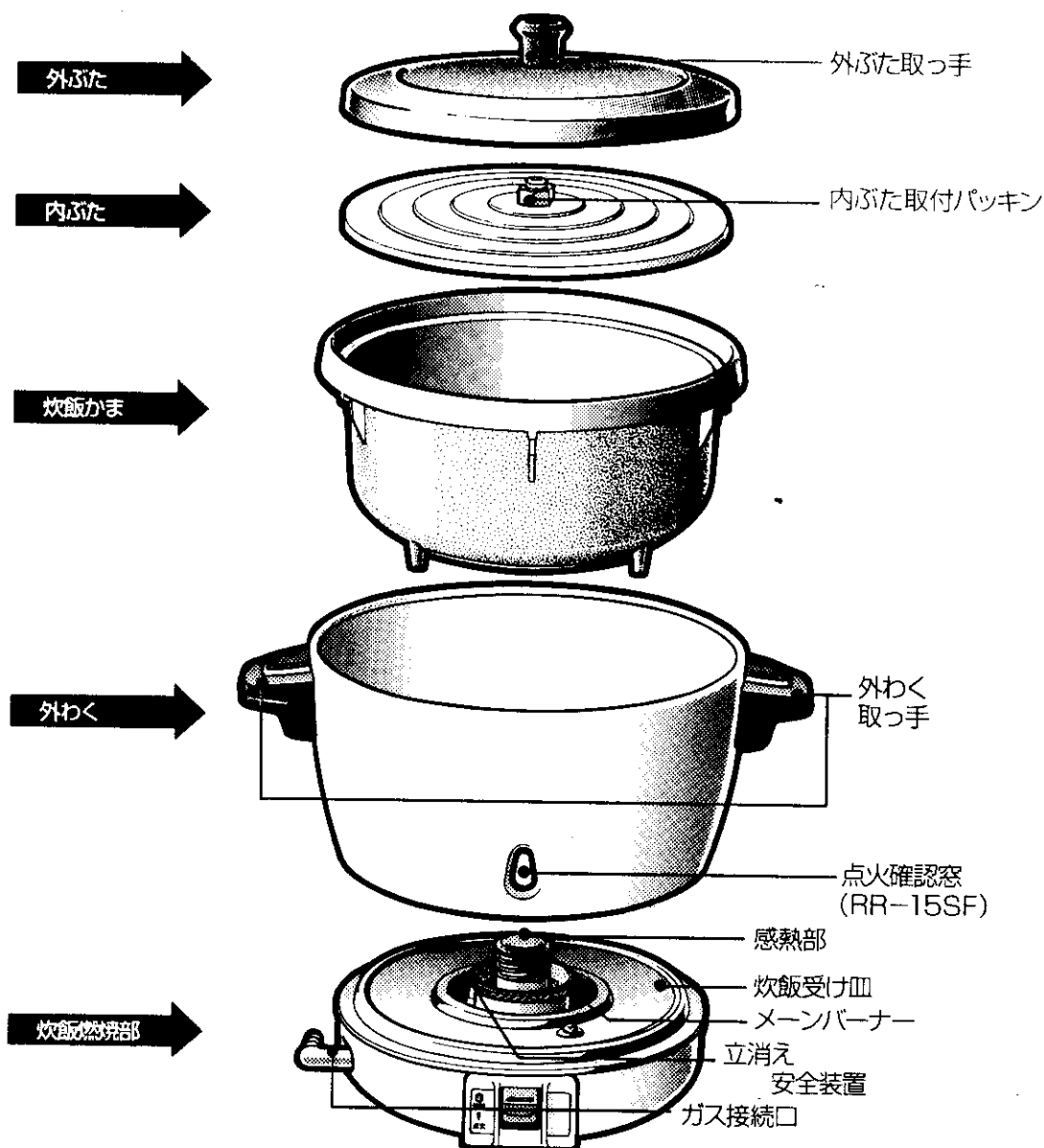
●水や熱のかからないところ
水のかかるところや、湿気のあるところ、他の熱源の近くでは使用しないでください。機器の損傷や故障の原因になります。

●換気のできるところ
お部屋の換気口（給気口・排気口）は常に確保し物などでふさがないでください。又、炊飯中は換気扇を回すなどして換気をしてください。

●湯沸器の下に設置しないでください。
湯沸器が誤動作することがあります。

●幼児の手の届かないところ
幼児の手の届くところでは使用しないでください。本体に触れてやけどしたり、蒸気でやけどする恐れがあります。

4 壁や上方と間隔をとる

●周囲の壁などが木材のような可燃物の場合
壁から10cm以上、上方30cm以上、必ず離してください。

●可燃物の壁から10cm以上離せない場合
防熱板を壁に取り付けてください。

※防熱板について

材質	厚さ	ご注意
鋼板	0.5mm以上	1cm以上の空間をとり、有害な変形のないよう補強してください。
ステンレス鋼板	0.3mm以上	

⚠警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。
(火災予防条例で規制されています)
距離が近いと火災の原因になります。

各部の名称

●はじめてお使いのとき

●外ぶた・外わく・炊飯燃焼部はきれいな布で拭いてください。炊飯かま・内ぶた・計量カップなどは中性洗剤で洗った後、きれいな布で水気を拭きとってください。

●乾電池をセットしてください。電池ケース（炊飯燃焼部裏側にあります）に⊕⊖の方向を確かめて乾電池をセットしてください。単2形乾電池（R14P）、1個使用です。

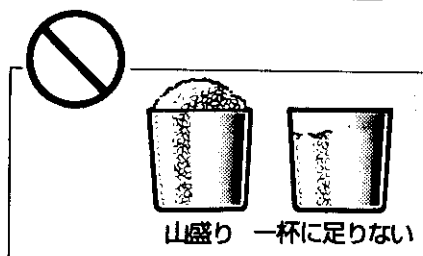
●付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

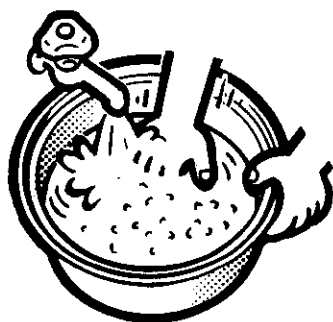
●乾電池が消耗すると点火しにくくなります。「パチパチ」と放電間隔が長くなったら、早めに新しい乾電池にお取り替えください。

ご飯の炊きかた

●お米の準備

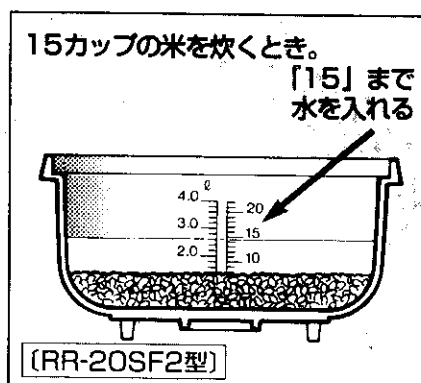
1 お米を計って洗米する

●付属の計量カップすりきり１杯で約180mℓ（１合)。

●たっぷりの水で手早く洗ってください。洗い足りないと、ニオイ・黄バミ・炊飯不良の原因になります。

●泡立て器などを使わないで手で洗ってください。

●炊飯かまで洗米できます。

●洗米機に長時間かけると粉米が多くなり、炊飯不良の原因になります。

2 水加減する

●お米は水平にならし、炊飯量に合わせて目盛りまで水を入れる。

●炊飯かまの水位目盛は標準の水加減です。お米の種類やお好みに合わせて水加減してください。

新米	目盛より少なめ
古米 麦まぜ米 標準価格米 胚芽精米	目盛より少し多め

●水加減後30分〜１時間ぐらい水につけておくと、十分水分を吸収し、芯のないおいしいご飯が炊き上がります。

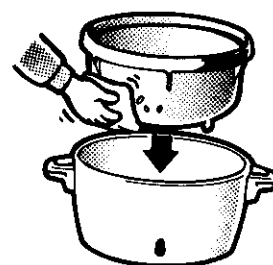
●機器のセット

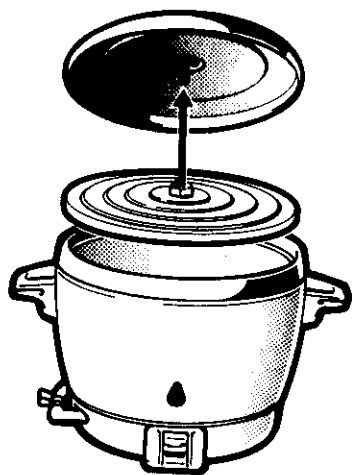
1 炊飯かまを外わくにセット

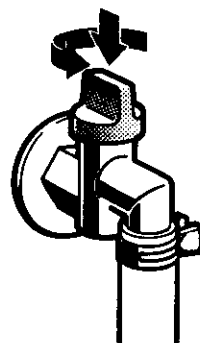
●外わくに入れてお米を水平にならしてください。

●炊飯かまの外側や底の水分・異物、外わくの内側に米つぶ・食品くずも取り除いてください。

1 ガス栓を全開にする

●炊飯レバーが「止」の位置にあることを確認してからガス栓を開けてください。

2 内ぶたを外ぶたに取り付け炊飯かまにセット

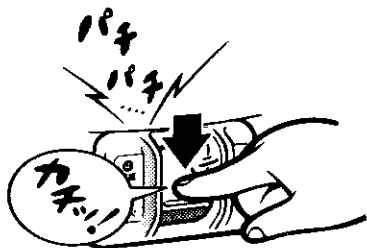
●内ぶた取付パッキンを内ぶた取付軸にきっちりとはめ込んでください。

3 外わく部を炊飯燃焼部に正しくセット

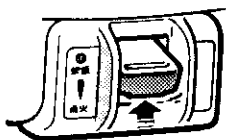
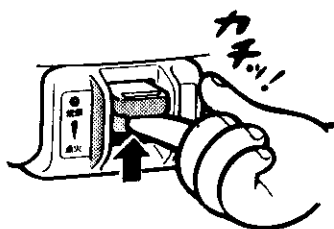
●外わく部を正しくセットしないと、炊飯できません。

⚠注意

炊飯燃焼部の炊飯受け皿・感熱部に米つぶ・食品くずなどがついていると、正常に炊飯できません。外わく部をセットするときに、必ず取り除いてください。

●点火・炊飯

2 バーナーに点火する

●炊飯レバーを下へ「カチッ」と音がするまで押し下げて、そのまま数秒間押し続けてください。

●手を離してもバーナーに点火していることを点火確認窓から確かめてください。

●炊飯レバーを押し下げた際、手を離すと途中までもどりますがセットされています。

●万一、バーナーに点火しなかったり、炊飯途中で火を消すときは、炊飯レバーを「カチッ」と音がするまで強く引き上げてください。

お願い

●はじめてご使用になるときや、長い間ご使用にならなかったときなどはゴム管内に空気が入っていて、点火しにくいことがあります。この場合には、空気が抜けるまで、数回点火操作を繰り返してください。

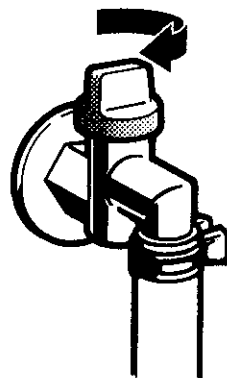
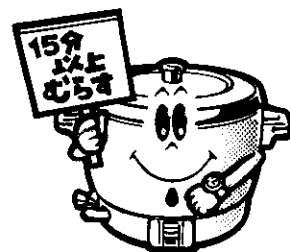
●ゴム管内に空気が入っている場合、バーナーに点火しても消火することがあります。確実に点火していることを確認してください。(数秒間) 万一、吹き消えなどで5秒間以上ガスが出た場合は、炊飯レバーを「止」の位置までもどしガスの臭いが消え、さらに数秒間待ってから点火操作を行ってください。

●消火

■炊飯が終わると・・・

●炊飯レバーは「止」の位置にもどり、バーナーは消火します。

●消火を確認してからガス栓を確実に閉めてください。

●むらし

●消火してすぐにふたをとると、おいしいご飯になりません。消火してから必ず15分以上むらしてください。

●むらしが終ったあと、ご飯をよくほぐしてください。

あとかたづけ

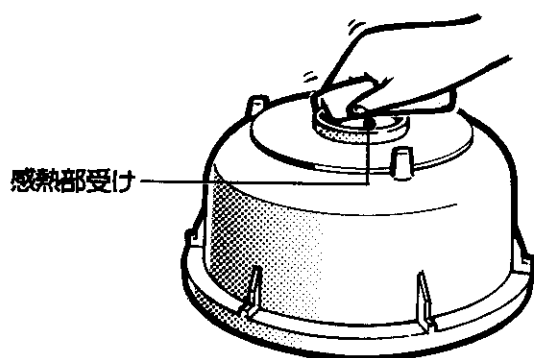
●機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れをふき取ってください。また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所で新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

お願い まず確かめてください。 ①ガス栓が閉っている ②本体が冷えている

●そのつどのお手入れ

■炊飯かま

●使用後はごはん粒、おねば等を洗い落としつねに水切りよく保存してください。

●炊飯かま底面の感熱部受けの汚れをきれいにふきとってください。異物がつくと炊飯不良の原因になります。

フッ素樹脂加工をいためず、長持ちさせるには

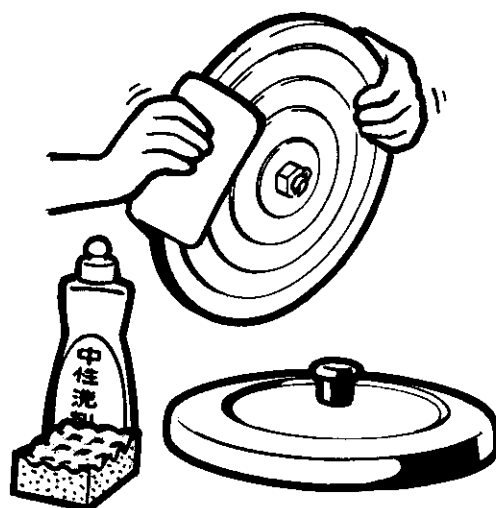
●研磨効果の高い洗剤やかたいスポンジ、金属たわしで洗わない。

●スプーンや食器などを入れない。

●炊きこみなど調味料を使った後はすぐに洗う。

●酢などの酸の強いものは使わない。

■内ぶた・外ぶた

●そのつどやわらかいスポンジを使って洗ってください。汚れのとれにくいときは中性洗剤で洗って、そのあと乾いた布で水気をふいてください。

■ライスネットをお使いになる場合

●炊飯ごとに必ずお手入れを行ってください。

●炊飯後はそのつど、きれいに洗ってください。目づまりしていると、早切れ、炊きむらの原因になります。手洗いでは不十分ですので、洗濯機「すすぎモード」で水洗いされることをおすすめします。

●毎日の炊飯回数に応じた予備のライスネットを用意され、きれいに洗われたものを1回に限り使用していただく方法もおすすめします。たとえば、1日5回炊飯の場合は、5枚のライスネットを用意する。

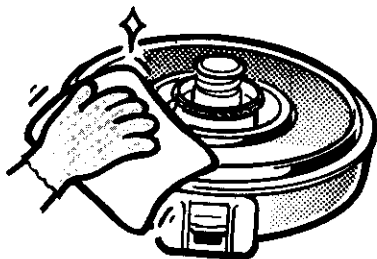
お手入れ

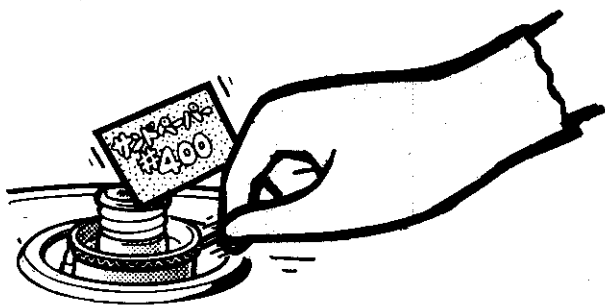
お願い まず確かめてください。　①ガス栓が閉っている　②本体が冷えている

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理改造は行わないでください。
火災・ガス漏れの恐れや異常動作してケガをすることがあります。

■炊飯燃焼部・炊飯受け皿

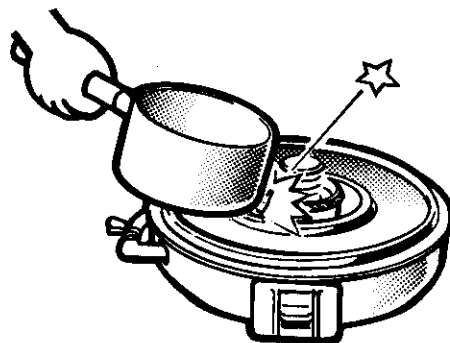
●乾いた布で水気をとってください。炊飯燃焼部には、安全装置が組込まれていますのでぬらさないでください。

■バーナー・感熱部

●バーナー炎口がつまっているときは針金などで取り除いてください。感熱部の汚れがこびりついて取れないときは極細目のサンドペーパー（目のあらさ400番程度）で表面に傷が付かない程度に軽くこすり取ってください。

●バーナーや感熱部などのお手入れの際は、けがをしないように手袋などをはめて行ってください。

■外わく

●水洗いします。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で洗って、その後、乾いた布で水気をとってください。金属タワシなどで強く洗いますと、ほうろうがいたみますのでご注意ください。

■立消え安全装置

●やわらかな布などで汚れをふきとってください。汚れていたり、位置が変わると点火しにくくなります。固いものをぶつけたりして位置を動かさないようにしてください。

お願い

プラスチック・印刷塗装面・ほうろうのお手入れには酸性・アルカリ性の洗剤・アルコール・シンナー・金属たわし・ナイロンたわし・クレンザー（みがき粉）などを使わないでください。

消耗部品について

1 消耗部品はお買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所でお買い求めください。

●炊飯かま（フッ素樹脂加工）

使っているうちに、色むら・ハガレができることがありますが衛生上問題ありません。
ご使用に不便をきたすようになりましたら、炊飯かまだけをお買い求めください。

●その他の部品類

ふたなどが、変形・破損してご使用に不便をきたすようになりましたら、その部品だけをお買い求めください。

故障や異常の見分け方と処置方法

⚠ 警告

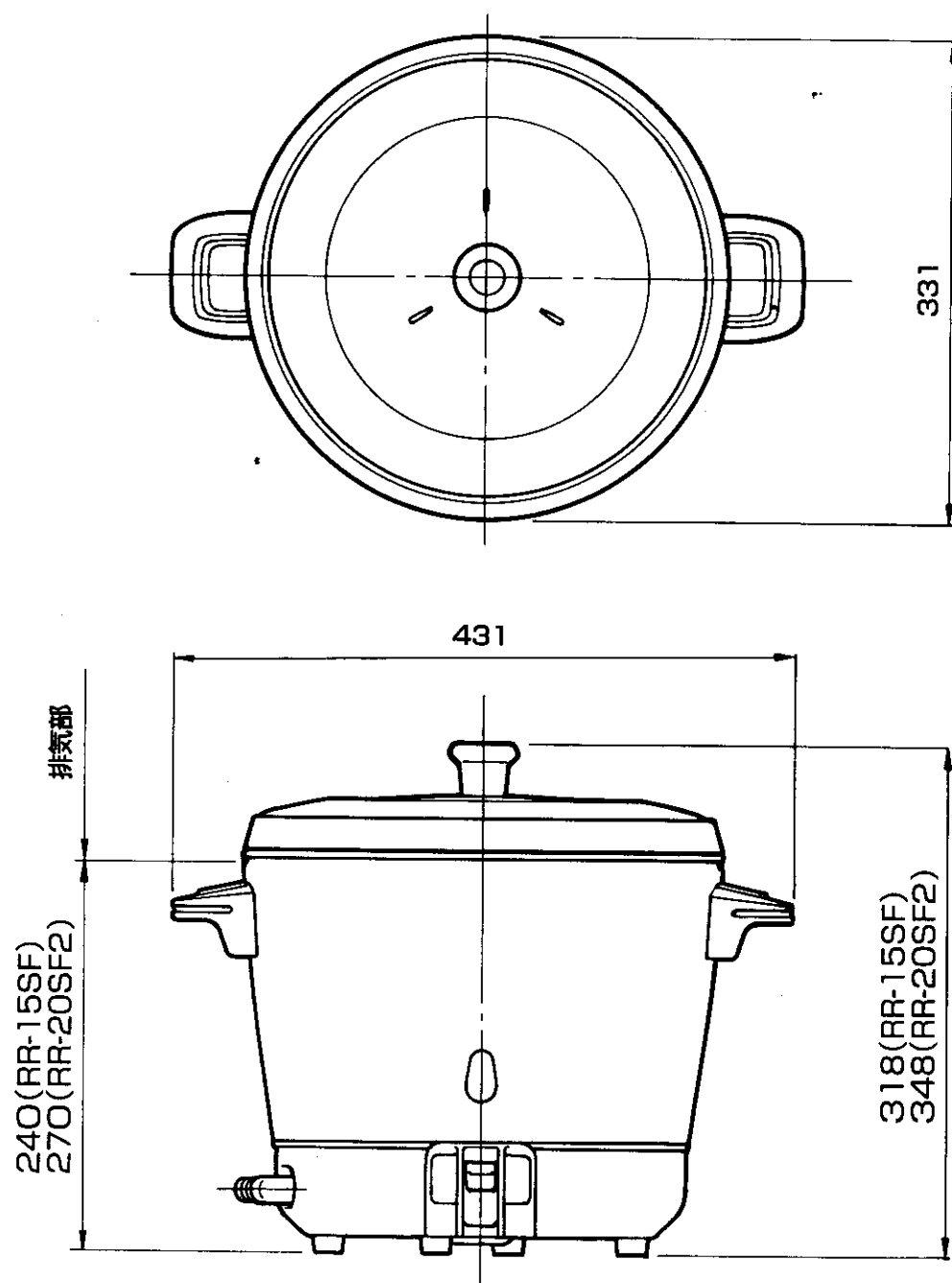
使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
① あわてず、ガス栓を閉める

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、
そのままお使いにならず、直ちに使用を中止して十分な点検をお願いします。

現　象	原　因　と　処　置
点火しない 点火しにくい 使用中に消火した	1.ガス栓が全開になっていない　→　全開にする 2.機器セット不良　→　正しくセットする 3.ゴム管の折れ曲り・つぶれ　→　折れ・曲りを直す 4.点火操作が適切でない　→　押し時間を長くする 5.ＬＰガスがなくなりかけている　→　新しいボンベに交換する
炎が安定しない 黄炎で燃える 異常音をたてて燃える	1.バーナー炎口づまり　→　炎口づまりを掃除する 2.ＬＰガスがなくなりかけている　→　新しいボンベに交換する
ご飯がうまく炊けない ・自動消火しない ・早切れする ・ふきこぼれが多い ・ご飯がこげる ・炊きむらがある	1.機器が傾いている　→　正しく設置する 2.機器セット不良　→　正しくセットする 3.感熱部・感熱部受けの汚れ・異物付着　→　汚れ・異物を取り除く 4.水加減不良　→　正しく水加減する 5.洗米不良　→　正しく洗米する 6.ご飯をほぐしていない・むらしていない　→　15分むらし後、よくほぐす 7.ライスネット使用時ライスネットの目づまり　→　ライスネットをよく洗う
ガスのにおいがする	ガスゴム管のひび割れ、穴あき　→　ガスゴム管を交換する
ふきこぼれや、風などで炎が消えたとき	安全のため立消え安全装置が働き、自動的にガスが止まります。消火に気付いたときは、すぐ炊飯レバーを「止」にしてください。再点火するときは、周囲にガスがなくなってから点火操作してください。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所に修理を依頼してください。

寸法図

〔単位：mm〕

（イラストはRR-15SFを示します）

仕様

品　　名		RR-15SF	RR-20SF2
炊飯量（ℓ）		0.8～3.0	1.4～4.0
外形寸法 (mm)	高　さ	318	348
	幅	431	431
	奥　行	331	331
質　量（kg）		5.8	6.2
ガス接続		φ9.5mmガス用ゴム管	
安全装置		立消え安全装置	
点火方式		放電点火式	
付　属　品		計量カップ・乾電池・取扱説明書（保証書付）・『連絡先』一覧表	

※RR-15SF型

ガスグループ（ガス種）		1時間当たりのガス消費量	形式の呼び
LPガス		2.56kW(0.183kg/h)	RR-15SF
13A		2.67kW(2,300kcal/h)	
12A		2.44kW(2,100kcal/h)	
6A		2.67kW(2,300kcal/h)	
5C		2.67kW(2,300kcal/h)	
L1	(6B·6C·7C)	2.76kW(2,370kcal/h)	
L2	(5A·5B·5AN)	2.67kW(2,300kcal/h)	
L3	(4A·4B·4C)	2.61kW(2,250kcal/h)	

※RR-20SF2型

ガスグループ（ガス種）		1時間当たりのガス消費量	形式の呼び
LPガス		4.65kW(0.332kg/h)	RR-20SF2
13A		4.88kW(4,200kcal/h)	
12A		4.53kW(3,900kcal/h)	
6A		4.71kW(4,050kcal/h)	
5C		4.24kW(3,650kcal/h)	
L1	(6B·6C·7C)	4.59kW(3,950kcal/h)	
L2	(5A·5B·5AN)	3.78kW(3,250kcal/h)	
L3	(4A·4B·4C)	3.14kW(2,700kcal/h)	

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

長期間使用しない場合

各部の汚れを取除き、十分に乾燥してからほこりなどの異物が入らないようにビニールに包み、
お求めになったときの箱に入れ湿気やほこりの少ないところへ保管してください。
特にガス通路部分（ガス接続口など）には、ほこりが入ってガス通路をつまらせないようにしてください。

アフターサービスについて

■サービス（点検・修理など）を依頼される前に

●15ページの「故障や異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓を閉じてから、お買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

①製品名・ガスの種類
②形式の呼び（銘板表示のもの）
③故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
④ご住所・お名前・電話番号・道順
⑤訪問ご希望日

■転居される場合

●ガスには都市ガス数種類およびＬＰガスの区分があります。

⚠警告

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。
転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりのガス事業者にご相談ください。

●転居にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

●裏表紙が保証書になっています。

●当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください。）

●保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保存してください。

■補修用性能部品の最低保有期間について

●この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後６年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■アフターサービスなどの連絡先

●お買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。

●別添の「連絡先」一覧表を参照してください。

形式の呼び RR-15SF・RR-20SF2

リンナイ　ガス炊飯器　**保証書**

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1. 保証期間はお買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
   保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、別添の『連絡先』一覧表をご覧の上、お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所にご相談ください。
4. 本保証書は、再発行いたしませんので大切に保存してください。
5. 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造によ[illegible]故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動[illegible]る故障および損傷。
(ハ) 火災、水害、地震、落[illegible]他の[illegible]や異常電圧による故障[illegible]損傷
(ニ) 一般家庭用以外（例え[illegible]長時間[illegible]船への搭載）に使用され[illegible]合の故[illegible]び損傷
(ホ) 本書の提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
(ト) 指定外の燃料[illegible]燃料の供給事情による故障および損傷。ご転居な[illegible]熱量変更に伴なう改造・調整の場合。

4. [illegible]は日[illegible]おいてのみ有効です。
[illegible]nty is valid only in Japan.

※[illegible]本書に明示した期間、条件のもとにおいて無[illegible]のです。従ってこの保証書によって、お[illegible]るものではありません。保証[illegible]の修理[illegible]てご不明の場合は、お買い上[illegible]販[illegible]添の『連絡先』一覧表をご覧の上、お[illegible]のリ[illegible]社・支店・営業所・出張所にお問い合[illegible]

※[illegible]期間経過後[illegible]理、補修用性能部品の保有期間につい[illegible]しくは18[illegible]をご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年	日	
販売店		扱者印	
住所			
電話番号			

お客様へ
この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

連絡先

事業所	電話	住所
本社	☎052(361)8211	〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
関東支社	☎03(3434)4571	〒105-0012 東京都港区芝大門2－9－1
東京支店	☎03(3471)8481	〒140-0002 東京都品川区東品川1丁目6番6号
神奈川支店	☎045(983)9451	〒226-0025 横浜市緑区十日市場町814－19
東関東支店	☎043(273)3360	〒262-0033 千葉市花見川区幕張本郷6丁目27－5
埼玉支店	☎048(773)2355	〒362-0073 埼玉県上尾市浅間台1丁目21番地10号
東北支社	☎022(238)8601	〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目5－5
札幌支店	☎011(281)2506	〒060-0031 札幌市中央区北一条東2丁目
新潟支店	☎025(247)6610	〒950-0864 新潟市紫竹2丁目1－74
中部支社	☎052(363)8001	〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
関西支社	☎06(6532)3001	〒550-0014 大阪市西区北堀江3丁目10番21号
広島支店	☎082(277)5131	〒733-0833 広島市西区商工センター3丁目4番21号
高松支店	☎087(821)8055	〒760-0066 高松市福岡町2丁目11番6号
九州支社	☎092(281)3234	〒812-0029 福岡市博多区古門戸町2番3号